

CONTENTS

平成21年度の所信

- ・平成20年度の変化
- ・平成21年度の所信

情報発信 ステーション

(財)日本医療機能評価機構認定病院
(社)日本病院会 人間ドック・
健診施設機能評価認定病院

特定医療法人 緑社会

金田病院

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
TEL (0867)52-1191 FAX52-1917
http://www.kaneda-hp.com

平成二十一年度の所信



特定医療法人緑社会 理事長
金田病院院長

金田 道弘

「聖域なき構造改革」の名のもとに断行された医療費削減政策の目指すところは急増する老人医療費の抑制にほかなりません。照準は中小病院をはじめとする病院病床数の削減と生活習慣病対策に向けられました。また医学部定員削減政策と医師卒後臨床研修制度がもたらしたものは、地域医療病院の深刻な医師不足でした。

これらの結果医療現場、特に中小病院の疲弊はもはや限界に達し、岡山県でも地域医療を長年担ってきた中小規模の三病院がこの一年間に姿を消しました。私たちも同様に医療費削減政策の直撃を受け、医療制度改革の荒波に翻弄される中を懸命に生きた一年でした。

医療崩壊がこれ以上進むと地域崩壊に直結する、そして医療は地域の共有財産であり住民と医療者が力を合わせて創り上げていくべきものと考えられ始めたのもこの一年でした。

私たちは特定医療法人として県と住民から期待される公益性を再認識し、岡山県北中西部における地域医療の役割を真摯に受け止め、使命感を持って誠実に果たしてまいります。新年度にあたり平成二十一年度の変化を振り返ると共に平成二十一年度の所信について申し上げます。

皆様の変わらぬあたたかいご支援に深く感謝申し上げます。いつも誠にありがとうございます。

特定医療法人緑社会 理念

奉仕
仁愛
誠実
研鑽
調和



金田病院 理念

- 一、金田病院は、二次医療圏・日常医療圏の中で、地域の医療機関との緊密な連携のもとに、地域の中核病院として、人々にわかりやすい医療提供体制を構築します。
- 二、金田病院の医療提供体制は、「急性期医療」を基幹とし、「医療療養病床」を運営し、地域医療に貢献します。

基本方針

- 一、金田病院は、地域の人々に、良質な医療・介護を提供します。
- 二、金田病院は、地域の人々と、ゆるぎない信頼関係を築いていきます。
- 三、「個人情報保護法」を厳守するとともにプライバシーを尊重します。
- 四、根拠に基づく公平な医療を提供します。
- 五、診療は、医師の説明と、患者の皆様の選択に基づいて行います。

平成二十年度の变化

一、医師不足の中、岡山県北中西部の地域医療確保の期待を担い岡山大学、川崎医科大学、岡山医療センターより優秀な外科医師一名、内科医師二名を招聘することができました。岡山大学からの依頼を受け、医師不足が特に深刻な新見市の特定医療法人新見中央病院に昨年八月より外科医師を毎週派遣しています。

二、岡山県保健医療計画の脳卒中医療連携体制において、超急性期の専門的診療が二十四時間可能な「急性期A」施設に認定されました。岡山県北では津山中央病院と当院の二か所です。

三、より安全で充実した医療・看護体制を目指し、昨年八月より病床数を一九九床から一七七床に減床

し、十月より一般病棟を最高レベルの看護単位七対一にしました。

四、DPC準備病院として厚生労働省に二年目の診療データの提出を行い、本年四月からDPC対象病院として承認されました。

五、質の高いがん医療を提供すると共にがん治療を志す優れた医師を養成する「日本がん治療認定医機構認定研修施設」に認定されました。

六、全面稼働から六年目を迎えた電子カルテシステムは順調に稼働し、待ち時間の短縮、診療情報の開示等に貢献しました。

七、透析医と臨床工学技士の確保困難等により、残念ながら本年三月末をもって透析医療を休止いたしました。

した。落合病院と新見クリニックで透析を継続していただくことができました。関係の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げますと共に、ご協力に深く感謝申し上げます。



平成二十一年度の所信

金田病院、みどり訪問看護ステーション、

指定居宅介護支援事業所みどりは強固に連携し、

法人理念である「奉仕・仁愛・誠実・研鑽・調和」のもと、

医療・社会福祉に貢献します。

『納得の安心医療を真庭から』を本年のスローガンにゆるぎない信念を持ち地域の皆様にとってなくてはならない病院であり続けることを目指します。

一、地域医療における責任を果たすため、健全な経営・管理・運営を行います。

二、急性期医療を担う岡山県内二十か所のDPC対象病院の一つとして医療の質の標準化と透明性の確保を推進し、良質で効率的な急性期医療を提供します。

三、岡山県保健医療計画に基づく地域医療連携体制により、岡山県北中部の①脳卒中医療、②がん医療、

③急性心筋梗塞医療、④糖尿病医療、⑤救急医療、にチーム医療で貢献します。

四、四月一日循環器内科医長徳永尚登医師着任に伴い、循環器診療に必要な体制と医療機器の整備・充実を行います。

五、岡山県北中西部の医療崩壊阻止に不可欠な優れた医師（特に麻酔科医師、整形外科医師、脳神経外科医師、内科医師、放射線科医師）

ならびに看護師等医療スタッフの招聘と育成に全力を尽くします。

六、新見市内で唯一の救急告示病院である特定医療法人新見中央病院の協力病院として、新見市の救急医療にも期待される役割が果たせるよう最大限の努力をします。

七、日本人間ドック学会・人間ドック機能評価の更新審査（Ver. 2）の受審を目指します。

八、当法人職員の地域医療・医療情勢・病院経営に対する深い理解と、昼夜を問わぬ地域医療への貢献に適正に報いることを目指します。

九、引き続き社会医療法人の可能性について検討します。

十、病院施設の狭隘化・経年変化等に適切に対処するための検討を開始します。

